

2022年10月5日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

Net-Zero Banking Allianceのトランジション・ファイナンスに係る指針の公表について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG)は、MUFGが参加する「Net Zero Banking Alliance」(以下 NZBA)傘下の「Financing & Engagement」作業部会(以下 本作業部会)が、本日、トランジション・ファイナンスに係る指針を公表したことをお知らせいたします。

1. NZBAとMUFGの活動について

NZBAは、2021年4月に国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP-FI)が主催し、世界43の銀行で発足した、2050年までの投融资ポートフォリオにおける温室効果ガス(以下GHG)排出量ネットゼロを目指す民間金融機関のアライアンスです。2022年9月末時点で、117社の金融機関が加盟しています。

MUFGは、2021年5月に「MUFGカーボンニュートラル宣言^[1]」を公表するとともに、同年6月に国内金融機関で最初にNZBAに加盟しました。NZBAへの加盟後は、加盟金融機関の中から地域毎に選出される12の金融機関で構成されるステアリンググループ^[2]に唯一の日本の金融機関として選出され、NZBAの運営を他のステアリンググループのメンバーとともに担ってまいりました。

本作業部会は、トランジション・ファイナンスに関する枠組み作りを目指し、2022年1月に設立されました。MUFGは、本作業部会の月次の会合を通じ、お客さまとのエンゲージメントやトランジション・ファイナンスの推進に関し、指針策定に向けた議論に貢献して参りました。

2. トランジション・ファイナンスに係る指針について

NZBAは、本作業部会での議論を踏まえ、トランジション・ファイナンスに係る指針(NZBA Transition Finance Guide : <https://www.unepfi.org/net-zero-banking/members/resources/>)を公表しました。本指針では、トランジション・ファイナンスに取り組む上で参照できる原則を規定しており、また、トランジション・ファイナンスを拡大するための政策提案も行っています。

MUFGは、トランジション・ファイナンスが2050年カーボンニュートラルを達成するための重要な柱であると考えており、NZBAや本作業部会の活動を通じて得た知見・ネットワークなどを活用し、お客様のトランジション支援に貢献してまいります。

[1] MUFGカーボンニュートラル宣言については、以下のリンクをご参照ください。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210517-003_ja.pdf

[2] NZBAのステアリンググループについては、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.unepfi.org/net-zero-banking/members/governance/>

以 上